

「若手交流会」開催のお知らせ

政治経済学・経済史学会における若手研究者の学会活動を活性化するため、秋季学術大会にあわせて以下の要領で「若手交流会」を開催します。学会内外の若手研究者の幅広い参加をお待ちしています。

研究委員会

- 【日 時】 2024年11月1日（金）19時00分頃～21時00分頃
【場 所】 札幌駅およびすすきの駅周辺の飲食店
【テーマ】 これからの若手交流会をつくる ～情報交換と懇親～
【司 会】 大塩量平（立命館大学）

- 昨年に引き続き、今回も若手同士の懇談を主目的に懇親会のみを独立させた形態で実施します。そのため、ご参加には飲食費（4000円程度）をご負担頂きます。
- ご参加にあたっては、専用フォーム (<https://forms.gle/k2s3DfsefGAvC7Bb7>) からご登録ください（締切：10月21日（月）16時）。後日、企画詳細や会場等をメールでお知らせします。
なお、会場予約のため、当日の参加受付は致しかねます。
- 登録後のキャンセルの際は、なるべく上記締切日時まで、それ以降でも遅くとも開催前々日（10月29日（火）午前中）までには、下記問い合わせ先に、必ずご連絡ください。
（キャンセルの可能性が生じた場合は、不確定段階でもお早めにご相談下さると助かります）

* * *

<趣旨>

2014年に初回が開かれた若手交流会は、これまで若手研究者（大学院生・OD・アーリーキャリア教員など）の研究および学会活動の活性化のため、若手研究者の直面する問題の共有や情報交換と勉強会、そして若手研究者間のネットワークづくりを目的に開催されてきました。経験の少ない若手研究者が、論文執筆や学会報告、史料調査といった研究上に不可欠な取り組みに挑むためのアドバイスを得ることができるよう、毎年特定のテーマを決め、講演会・勉強会と懇親会をセットとした企画です。毎年は多くの参加者があり、若手のみならず、中堅・ベテラン研究者も参加する賑やかな研究者の会として定着してきました。

しかし5年前に始まったコロナ禍によって開催自体が困難となったうえ、そもそも研究環境が大きく変わり、研究スタイルも分野や地域、そして個人によって非常に多様化しています。これからの若手交流会のテーマとしていったい何が求められている、皆で考え直す必要が生じつつあると言えるでしょう。これまで、若手が研究環境やキャリアアップの現状を理解し合う場をオンラインや対面で設け、全国から集まった若手と中堅研究者が現況を語り合い、最近の研究動向からより良い研究環境の見つけ方に至るまで情報交換をしてきました。今年はそれらを踏まえ、学会内外の若手を中心に本学会会員が幅広く集まり、今後の若手交流会の企画の在り方を話し合いたいと思います。ぜひ積極的にお集まりください。

※問い合わせ先（若手交流会世話人）：企画内容について・・・大塩量平 r-oshio●fc.ritsume.ac.jp

参加申込・会場について・・・見浪知信 tminami●andrew.ac.jp

（●をアットマークに変換下さい）